

## 厚生科学研究費補助金による研究事業

### 研究課題 1

「DV被害者における精神保健の実態と回復のための援助の研究」

DV被害を受けた女性及びその子どもを対象に、被害の実態を精神健康の観点を中心に広く調査研究する。

1 研究者

小西 聖子(武蔵野女子大学) 他

2 研究予定期間

平成13年度から平成15年度までの3か年

3 研究の概要

DVの被害女性を対象として、暴力の実態を明らかにするとともに、DVの精神健康への影響とその要因を調査する。

回復のための支援の方法を実践的に研究し、コミュニティにおける多彩な援助の方法について調査する。

DVの被害相談を行う相談員が、メンタルヘルスの観点から適切に医療や専門的援助を必要とする相談者をスクリーニングでき、また相談に来た被害者自身にも助けとなるような、簡単なチェックリストを開発する。

相談者自身の代理受傷についての分析調査とバーンアウトを防ぐためのチェックと対応の方法を実践、開発する。

### 研究課題 2

「母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもへの心理的支援のための調査」

DVにおいて母子ともに被害を受けることによる、子どもへの心理的影響を明らかにし、その後の発達、社会適応上の問題を明らかにするとともに、援助方法を検討する。

1 研究者

金 吉晴(国立精神・神経センター) 他

2 研究予定期間

平成14年度から平成16年度までの3か年

3 研究の概要

母子というユニットが夫などからの虐待にどの程度さらされているのか。

母子ユニットのなかで、母親が子どもに対して保護的な立場をとっているのか、あるいは夫に加担して虐待者の立場をとっているのか。

今後の子どもの保護と回復にとって、母親がどのような役割を果たすことができるのか。

そのために母親が必要としている保護と援助はどのようなものか。

母子被害を受けた子どもが、その後どのように社会、学校に適応していくのかを調査する。